

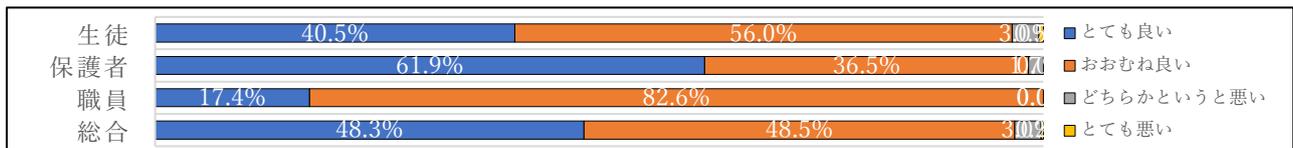
学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートにつきましては、今年度、初の試みでWebアンケートにて実施いたしました。おかげさまで、全校の回答率97%、70程の自由記述によるご意見ご感想をいただきました。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

5つの設問項目についてみますと、総じて、「とても良い」「おおむね良い」が9割を超えるものが多く、白馬中学校の状態を全般に肯定的に見ていただいていることに、私たちの頑張りも報われる気がして嬉しく思います。これも、前向きで素直な子どもたちがいて、温かな保護者の皆様がいるお陰であると心から感謝しております。

自由記述でいただきましたご意見ご感想につきましては、できる限り一つ一つについて、学校で考えていることをレスポンスさせていただきました。ご理解ご協力をいただければ幸いです。また、30件近い心温まるご意見ご感想も頂き、学校職員一同励みとなるところです。このような温かな保護者の皆様に支えられ白馬中学校が進んでいることに心から御礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

設問1 全体として、白馬中学校の教育活動をどう思いますか？

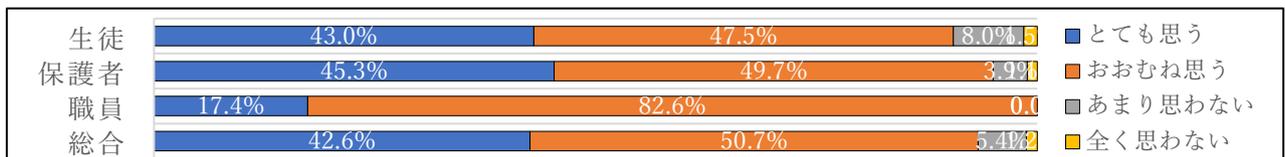


本校では、今年度より学校教育目標を「たのし うれし 白馬 われら」に変更し、あらゆる教育活動で意識できるように努めて参りました。コロナ禍にあっても短期間でオンライン授業を実現するとともに、子どもたちのかけがえのない今を大切に、あらゆる子どもたちの学びを止めないよう、様々な教育活動について何度も計画を変更し見直し、工夫して実施してきました。例えば、1年総合「白馬で遊ぶ」、唐松岳登山、総合発表会、白馬国際フォーラム、2年職場体験学習、東北への修学旅行などですが、これらの一つ一つで、「たのし うれし 白馬 われら」を意識できたように思います。

白馬中学校のこのような姿勢が、保護者評価の「とても良い」の61.9%という稀に見る高評価につながったものと思います。また、総合評価でも、「とても良い」が昨年度の16%から今年度48.3%へと大幅な上昇につながったものと考えます。

今後も with コロナの時代にある学校として、「かけがえのない、今を生きる子どもたちの学びを止めない」という決意のもと、地域の皆さんと連携しながら、工夫に工夫を重ね、学校教育を推進して参りたいと思います。

設問2 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと感じていると思いますか？

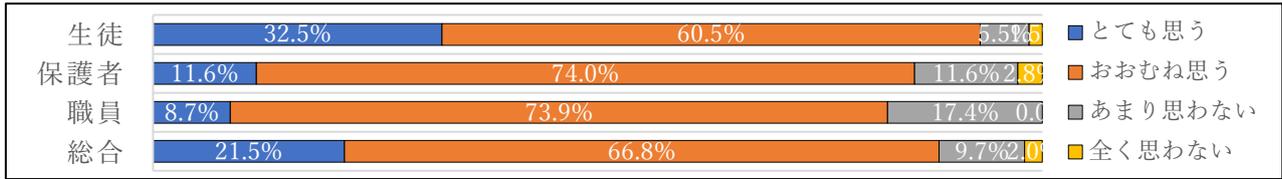


コロナ禍にあって制限が生じやすい中、学校へ行くのが楽しいで、「とても思う」と感じている生徒は、昨年度18%に対し、今年度は43%と増加し、「おおむね思う」を含めて、90.5%となり、満足して学校生活を送ってくれている生徒が多いことを嬉しく思います。また、保護者も95%が、我が子が学校へ行くのが楽しいと感じているようです。これは、様々な教育活動や子ども同士の人間関係、子どもと先生の人間関係を含めた結果であるかと、思っています。

一方で、「学校へ行くのが楽しい」と感じていない生徒が9.5%います。このことは、学校として真摯に受け止め、生徒一人一人の思いを受け止めるよう努めていきたいと思っております。

学校評価アンケートの他項目との関連から考えるに、学校行事に関わる教育活動の推進や友達同士の人間関係は全体的に良さそうですので、他の「授業や学力」、「先生との関係性」などについてより意識しながら、生徒全員が、「楽しい」と思える学校生活となるように努力していきたいと思っております。

設問3 授業は工夫されており、お子さんは授業に満足していると思いますか？



93%の生徒が「授業に満足している」と回答しており、特に、「とても満足」と回答した生徒の割合は、昨年度の13%から32.5%に増えています。これは、学校として、「一方的な教え込みの授業」から「対話を大切にした授業」への改善に努めた成果の表れかと感じています。また、オンライン授業を行った経験が、教室での分かりやすい発問や資料提示につながっているのかもしれない。

一方で、満足していない人の割合は、生徒が7%、保護者が14.4%、先生方が17.4%に及びます。これは、保護者や先生の、子どもへの期待の表れであるかと思えます。また、先生方からすると、自分たちなりに努力して準備し授業をしても、なかなか満足の子どもの姿にまでは至らないという、教師らしいシビアな感覚が表れているように感じています。

いずれにしても、新しい時代の授業として、生徒の資質・能力を育成するために、「対話的で深い学び」となるような授業が実践されるよう、引き続き、職員研修や教科会の充実を図っていきたいと思います。

設問4 お子さんは白馬村で育つことに喜びを感じていると思いますか？

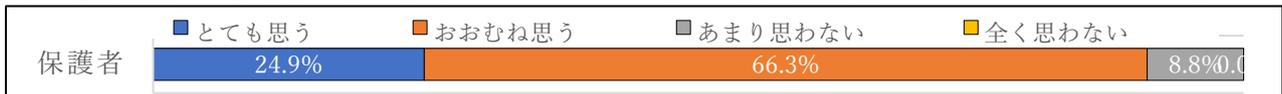


生徒は地域に根ざした総合的な学習や行事、村行事へのボランティア参加などを通して、地域の良さを再発見したり、これからの地域や自分自身のあり方について考えを深めたりすることができていると思います。生徒の「とても思う」の割合が昨年度の20%から大幅に向上しているのは、白馬国際フォーラムやオンライン授業など新たな地域の方に関わっていただいたお陰かと思えます。

今年度、コロナ禍の影響で参加できるボランティア活動が大幅に減少したことや、密になって大勢と関わる活動の機会がなかったことは、生徒の「あまり思わない」につながっている一因かとも思えます。

今年度から推進しているSDGsの視点からの教育を、次年度以降も継続していく中で、できる限り地域の方から学ぶ機会を充実させ、白馬村で育つことに意識し、喜びを感じられる生徒を育成していきたいと思えます。

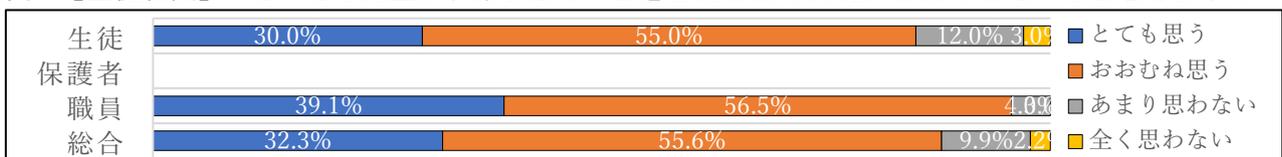
設問5【保護者のみ】学校は、お便りやホームページ等で必要な情報を知らせしていると思いますか？



90%を越える保護者のみなさまから肯定的な評価をいただくことができました。これは、学級・学年・学校だより等のお便りに加え、今年度はホームページのリニューアルを行うことができたためかと思えます。

初の試みでこの「学校評価アンケート」をWebアンケートで実施しましたが、大きな問題はありませんでした。自由記述の中で、お便りを紙ではなくメール等の電子媒体にしてほしい旨の要望が寄せられています。この意見を受け、すでに12月から施行していますが、今後、月予定や学校からのお便り等を白馬中学校のホームページで閲覧することができるようにするなど、情報発信の工夫や改善を図って行きたいと思えます。

設問6【生徒職員】いろいろな先生が、あなたのことを心配したり大切にしたりしていると感じますか？



「とても思う」と回答した生徒の割合が昨年度の11%から30%に上昇しました。また、アンケート自由記述欄で、保護者の方から、多くの感謝の気持ちを伝えていただき、生徒との関わり・支援に対し、一定の評価が得られていることを嬉しく思います。

一方で、生徒の否定的な評価が15%あることを重大なこととして受け止め、子ども一人一人の理解に努めるとともに、子どもの思いを大切に、それぞれの成長に寄り添っていきたく思います。

また、今年度は、例年の12月に加えて7月にも懇談会を行い、保護者との連携に努めてきましたが、保護者の皆様が気になることがありましたら、遠慮なく担任や養護教諭、教頭、校長等にご相談いただければと思います。